

## ⑥ 釜ヶ台番楽の看板 (にかほ市釜ヶ台)

縦1.1㍍、横1.8㍍。薬師神社、山神社の鳥居前に立てられた看板は「伝統文化を守り続けます」の力強いメッセージと鮮やかな写真が印象的な両面仕様。阿部久さんは「昔から有名な神社で参拝者も多く、ここで8月14日と20日に行うお盆公演を紹介する目的で立てました。

今の看板は10年前に更新したものです。公演日が近くなると、幟も立てています。以前は大きな民家が会場でしたが、今は地区の会館です」と話しました。



下直根の看板



## ⑦ 本海獅子舞番楽の看板 (由利本荘市鳥海町中直根、下直根)

縦2.85㍍、横0.9㍍。それぞれ環境保全組合の発足に合わせて製作され、中直根は消防ポンプ格納庫の壁に、下直根は「四方山かたらいルーム」玄関正面に掲げられています。畑澤宏司さん(中直根)は獅子が舞う姿を収めた看板を見ながら、「補助事業の一環で、構成集落が取り組む活動を広く掲示するための看板です。中直根の看板は3年ほど前に、下直根のものを参考にして製作されました」と話しました。



## ⑧ 貝沢神楽獅子・からうすからみの看板 (由利本荘市鳥海町貝沢)

縦2.4㍍、横0.9㍍。集落入り口の親子花壇に立つ両面看板は平成18年8月の設置。企画した鈴木富末雄さんは「貝沢からうすからみ保存会発足60周年を記念し設置しました。面板は3回ほど更新しています。ここは鳥海山ビューポイントで、カメラを構えた人がよく写真を撮っています」と教えてくれました。(写真は完成後に開かれた祝賀会の前に撮影)